

## 【Nチーム通信 2022 第4号】

10/22、10/23 に渡り松戸市で県民大会が開催され、市川市からも男女各代表チームが参加しました。ここでは両日のNメンバーの活躍について、当日の様子を踏まえつつ、報告します。

(Dはダブルス、Sがシングルを表します。)

### 男子

初日はベスト8 決めまで(市川市は、男女とも2回戦からの出場)。初日の男子の対戦相手は、「習志野市」でした。

#### 【対習志野市(2回戦)】

1Dは、松崎・武井組。今年からNチームに参入した武井選手は、国体選抜選手でもあり、県トップレベルの選手です。県民大会の経験も豊富な松崎選手とのペア、2-0で快勝でした。

続くSは、Nチームの若手エースでもある八巻選手。1D同様、地力で勝り、安心して見ていただける試合運びでした。勝敗は決しましたが、初日は2Dも行い、赤川・近藤組が登場。安定したプレーが光る赤川キャプテンと、フットワークの軽やかな近藤選手。この試合も快勝、翌日の準々決勝に駒を進めました。

#### 【対野田市(準々決勝)】

2日目の対戦相手は、強豪の「野田市」。インカレSチャンピオンや元日本B代表選手を擁する、優勝候補NO.1チームです。

1Dには、武井・八巻組をオーダー。当日考え得る最強のペアを送り出しました。野田市はSに絶対的なエースがいるため、案の定、オーダーをひっくり返し、2Dに強いペアを持ってきました。とは言っても1Dも相当の強さ。予想通り競りましたが、スピードと攻撃力で勝ち切りました。続いて、Sには若月選手の登場。県民大会は初の出場、加えて対戦相手はインカレチャンピオンでしたが、ファイナルに及ぶまさに“激戦”。惜しくも敗退しましたが、この野田市の選手との試合、県民大会でファイナルに至ったのは若月選手だけ。大健闘でした。

(それにしても、“エグい”クロススマッシュの連発。必死に取りに行く若月選手の応酬。見応えがありました。) 勝敗は2Dの結果次第となりました。市川市のオーダーは、近藤・赤池組。相手は元日本B代表選手を擁する屈指の強豪ペア。さすがに安定した試合運びと、卓越した技術が随所に現れます。近藤・赤池組も、サーブ周りが安定しており、必死に食い下がりましたが、残念ながら敗退。惜しくもベスト8で終了しました。





## 女子

女子の対戦相手は、「八千代市」でした。

【対八千代市（2回戦）】

八千代市はSに自信があるとみえ、2Dに強いペアを配置する、所謂“逆”のオーダーでした。

1Dは、長野・村上組。女子Nチームのトップペアです。相手をスピードと球回しで勝る市川市ペア、レシーブも安定しており2-0で快勝でした。



続くSは、昭和学院中の柚木選手。急きょ、Sでの起用として参加してくれた柚木選手。学生らしく、一生懸命にプレーしてくれました。残念ながら、健闘及ばず敗退しましたが、今後の成長の糧となる、良い試合でした。これで男子同様、勝敗は2Dの結果次第となりました。市川市のオーダーは、田村・山田組。相手はエース格のペアの登場です。田村選手のレシーブ、山田選手の攻撃力が冴えるも点数に差が出ず、まさに一進一退の攻防でしたが、あと一歩及ばず、残念ながら敗退しました。



最終的に、男子はベスト8、女子は2回戦敗退（ベスト16）の結果でした。前回の成績と比較し、男子は同一、女子は一步後退となりました。担当理事として納得のいく成績を残せなかったことを、とても反省しています。

コロナ禍の影響があったことは否めませんが、それはどのチームも同様。残念ながら力不足であったことは事実として受け止め、次なる団体戦である「市川 Special 大会」「郡市リーグ大会」では良い成績が残せるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。

〔文責：強化担当理事 杉町〕

